

花のまちづくり情報

花はな通信

Vol.6

第2回

恵庭フラワーガーデニング・コンテスト

は な か ざ び と

「花風人」

あなたの花の庭を
エントリーしませんか

あなたがステキと思っている
花の庭も推薦してください

街路樹の緑もすっかり色濃くなり、爽やかな風がやさしく吹き抜ける。花好きにはたまらない季節がやってきました。今年はいつになく春の訪れが早かったので、いつもより早めにガーデニングに取り掛かったお宅も多かったのではないのでしょうか。

さて、今年2回目を迎える『恵庭フラワーガーデニング・コンテスト「花風人」』、今年も恵庭市内全域を対象に実施します。「花風人」は、恵庭市の花のまちづくりのテーマ「花もよし、風もよし、人もよし。ここが恵庭」

の頭の文字を取って付けたネーミングですが、恵庭の花や風を愛する人のことも意味しています。このコンテストは、ステキな花の庭を作っている人が自ら応募いただいても結構ですし、そのステキな庭を見つけたという人が応募していただいても結構なのですが、いずれもそのステキな庭に愛着があるということになります。私も、恵庭花のまちづくり推進会議は、このように庭に愛着をお持ちの多くの方々からの応募を心よりお待ちしております。

応募期間

平成14年7月1日(月)～7月19日(金)

応募方法

ご自分で花の庭をつくっている方、またステキな花の庭を推薦したい方が、応募用紙に必要事項を記入し、事務局へ提出することでエントリーがなされます。ファックス及び郵送、また電話で必要事項を述べていただいても受け付けます。

応募用紙

市役所花と緑の課、市役所支所及び出張所、情報サロンに置いてあります。

応募対象部門

- I 個人のガーデン部門
- II ストリートのガーデン部門
- III 企業・工場ガーデン部門

賞

- 花風人グランプリ
オリジナル・プレート及び賞状(各部門3組)
- 花風人賞
園芸グッズ及び賞状(各部門3組)



なお、エントリーされたすべての個人、団体及び推薦していただいた方を対象に、抽選で30名に記念品を差し上げます。ただし、花風人グランプリ及び花風人賞を受賞された個人と団体は除きます。

問合せ・申込先

最後のページの発行者へ

第1回恵庭フラワーガーデニング花風人グランプリ受賞 村松恵美子さん(相生町)





花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭。

第13回 恵庭・花とくらし展



恵庭花とくらし展は、例年「花のまちづくりプラン」に基づき、花をくらしの中に普及させていこうという原点を大切にしながら、新しい情報を発信するイベントとして市民が主導のもと開催されております。

今回の花とくらし展は、開催場所がエコールタウンこがねということもあって、実際のモデル住宅の中を使ったり、モデル住宅を背景にしながらもりだくさんの花のイベントを開催します。

と き

平成14年6月29日(土) AM10:00~PM5:00

6月30日(日) AM10:00~PM4:00

と ころ

エコールタウンこがねモデルハウス会場
(恵庭市戸磯 基線通りと南26号との交差点近く)

内 容

29日(土)のみ

- ・寄植え講習会 定員20名
(11時~12時、当日受付、受講料1,000円)
- ・花の講演会 (13時15分~14時45分)
講師:兵庫県森と緑の公社、藤岡作太郎氏
- ・TVチャンピオン金井良一氏によるモデル庭園の
製作・説明 (15時30分~16時)

29日(土)・30日(日)の2日間

- ・ステキな花苗プレゼント (12時15分~、150名様に)
- ・スタンプラリーお楽しみ抽選会
- ・展示会 (生け花、ちぎり絵、写真、盆栽)
- ・展示講習 (パンアート、アレンジフラワー、ドライフラワー、押し花)
- ・寄植えコンテスト
- ・フリーマーケット



- ・ガーデンツアー
(10時15分、11時15分、12時30分、13時30分、14時30分)
- ・フラワーマーケット
- ・飲食コーナー
- ・ガーデニング園芸相談コーナー (10時~12時、13時~15時)
- ・花のお楽しみ抽選販売
(29日 16時~16時30分、30日 15時30分~16時)

30日(日)のみ

- ・金井良一氏による額縁講習会 定員20名
(11時~12時、当日受付、受講料1,000円)
- ・花の妖精コンテスト (12時30分~14時)
- ・花の音楽会 恵庭北高ブラスバンド演奏
(14時30分~15時10分)
- ・わんわんコーナー

恵庭駅から会場まで連絡バスがあります。

恵庭駅発			会場発		
9:50	12:50	15:50	10:10	13:10	16:10
10:20	13:20	○16:20	10:40	13:40	○16:40
10:50	13:50	○16:50	11:10	14:20	○17:10
11:20	14:30		12:10	14:50	
12:20	15:00		12:40	15:20	

※○印は29日(土)のみ運行いたします。

申込み・問合せ先

主催/恵庭花のまちづくり推進会議 共催/恵庭市黄金土地地区画整理組合
事務局/恵庭市建設部花と緑の課 (33-3131 内線2524・2525)

恵み野に魅せられて



平井 京子さん
恵み野北在住

恵み野のまちができて20数年、それぞれの理由でこのまちに移り住んだ人はたくさんいます。その中で、お二人とも生まれてからずっと留萌市で生活をし、自宅も留萌市にあったご夫婦が、ご主人の定年を機に恵み野に引っ越してこられたという話を聞きました。こういうケースは極めて稀ではないでしょうか。それで、今回はなぜ引っ越してこられたのだろうという素朴な疑問から、奥様の平井京子さんから自宅でお話をうかがいました。

——きっかけは？

私は、主人の定年後は、これまでの延長でない生活をした
たいと常々思っており、花が

好きでしたので、1年くらいドイツに花の勉強に行き、帰ってきたらまちを花いっぱいになりたいという夢をもっていました。その想いを主人に話すと主人は「それは、良いことだとは思いますが、少し時間がかかりすぎるんじゃないか。それより、花いっぱいのまちを探して、そのまちに住んだほうが早いのではないか。」と言ってくれたことからです。

——なぜ恵み野に？

千歳に用事がありその帰り、いつもなら必ず恵庭の市街地をまっすぐ通りぬけて帰る主人なのですが、その日はどういう訳かバイパスの方に曲がり、まったく見知らぬ住宅街に迷い込んでしまったのです。ゆっくり車を走らせているとある家の裏手にあるパンジーのハンギングが私の目に飛びこんできました。私はそれがとても素敵に見え、私を暖かく迎えてくれました。そしてこのまちが恵み野という地名だと知り、「なんと素敵な名前だろう。ここに決めよう。」と思い、すぐに土地さがしを始めました。いくつか紹介されて見て回り、いま住んでいるこの土地に立ったとき、「おいで。」という声が聞こえ

たように思え、ここに決めたのです。

——住んでみてどうですか？

住んで5年目になりますが、まち並みが清楚で美しいですね。中央公園も緑が多く、図書館やRBPもとても利用しやすく、恵み野の敷地の中に生活して行くゆえの自分のライフスタイルに合った街。そして市民一人一人がまちづくりの主役であるようにも思えます。今は花づくり愛好会の中に入れていただき、会の皆さんとの交流と活動が楽しいです。町づくりは息の長い活動ですが恵み野がいつまでも美しい町であるように町を守り育てるという意識をもって生活していきたいと思っています。



恵み野住宅街

「生態学的混播法 (せいたいがく てきこんばほう)」って何？

森は、厳しい自然環境により失われることがあっても、再生を繰り返す強さも持っています。こうした自然のち



現在の様子 (桜町)

からを生かすことで、元気のなくなった森をよみがえらせる。これを生態学的混播法と言います。まず、いろいろな種類のタネや小苗（その地域で採取されたものが良い。）を植えます。すると、その場所の気候や土質などの条件にあったものだけが生き残ります。つまり、自然が選んだのちによって、森が形成されていくのです。恵庭でも平成10年10月に市民参加で実施されました。植えてから4年目を迎えます（左の写真）が、成長の早いものはもう人の背丈ほどになっています。これから、どう育っていくかとても楽しみです。

（前半の説明文は、「生態学的混播法の理論と実践」（財団法人石狩川河川財団より抜粋）

ニュージーランドのティマル市を訪ねて

今年1月21日から7日間、恵庭商工会議所は、ニュージーランドのティマル市の商工会議所との友好関係締結に向け、友好親善訪問団（玉川会頭が団長）を同市に派遣しました。

恵庭市とティマル市は「花によるまちづくり」が共通のテーマ。訪問団一行は、ガーデニング関連施設や市内の主要施設、プライベートガーデンなども見学しました。今回、訪問団の一員として同市を訪れた西川さゆりさんからお話を伺いましたのでご紹介します。

——ティマル市の印象は？

私が行ったとき向こうは夏でしたが、昼と夜の温度差があって昼間は暑いのですが、夜は涼しいといった感じでした。人々は皆、純朴でとても親しみやすい感じでした。まちは、一戸建てが多く、高層ビルはありません。あまり派手な花飾りはありませんが、緑が多い感じでした。



ティマル市長のお庭にて

た。清楚でおちつきがあり、ゴミひとつ落ちていないんですよ。やはりイギリス風のまち並みですね。市長さん



ティマル市の国際交流委員会の方と西川さゆりさん(左)

のお宅にも訪問しましたが、そこも庭が広く、宿根草が多いいわゆるイングリッシュガーデンでした。私も、お金があればぜひ住んでみたいまちです。

——今後の交流については？

人的交流から経済交流につながれば良いですね。向こうは気候も良いし治安も良いので、例えば子供たちが英語の勉強をするのには、とてもすばらしい環境ですので、機会があればこどもを留学させたいですね。経済交流の関係ですが、ティマル市には海があってアワビが沢山獲

れ、貝殻は民芸品に使っていますが身は食べないらしいんです。もったいないでしょ。日本にもってくれば高く売れますよ。そのへんにもチャンスがありそうです。それともう一つオボッサムという動物がいて、その毛皮が軽くていいんですね。値段も手頃ですし、こちらビジネスチャンスがありそうですね。とにかく、いろいろな可能性があって、これからの交流が本当に楽しみです。

とじて保管します。

「オープンガーデン」に思う。

最近『オープンガーデン』に関する問合せが多くなってきた。しかし、その言葉の使い方とか、とらえ方がどうも話し手によって異なるようだ。Aさんは、「一定期間、自由に入って見て良い庭」の事だと言う。Bさんは、「通りから中が見える庭」の事だと言う。同じ言葉でも両者では、意味がかなり違い、話し手がどちらの意味で『オープンガーデン』と言う言葉を使っているのか、聞く側も注意しなければならない。

そもそも、『オープンガーデン』とは、イギリスで行われていて、個人の庭を一番いい時期

に年に数回チャリティのために公開すること、もう70年以上の歴史があり、園芸大国を支える重要な制度である。今、日本各地（北海道でも）で、それぞれの地域にふさわしい『オープンガーデン』の仕組みをどうして行ったら良いかという試みが始められている。本場イギリスの制度を参考にするのは当然だが、日本とイギリスでは文化も習慣なども異なるので本場と全く同じということにはならないと思う。少し時間はかかると思うが、日本なり、北海道なりの『オープンガーデン』の仕組みを皆で考えていきたい。(国)

発行 ■
恵庭・花のまちづくり推進会議
北海道恵庭市京町1番地
恵庭市花と緑の課内
TEL(0123)333131 FAX(0123)333175
発行日・平成14年6月15日